

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

(43) Date of publication of application: **02.11.00**

allotment amount recording means 106 for recording the first allotment amount.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

```

graph TD
    101[読取部  
読取手段] --> 105[第一の配列部  
配列手段]
    105 --> 106[第二の配列部  
配列手段]
    106 --> 107[第三の配列部  
配列手段]
    107 --> 108[第四の配列部  
配列手段]
    105 --> 102[出力部  
出力手段]
    106 --> 102
    103[制御部  
制御手段] --- 105
    103 --- 106
    103 --- 107
    103 --- 108
    104[外部記憶手段] --- 108
  
```

**SOLUTION:** This system is provided with a work evaluating means 101 for evaluating the work value of a artist and an investment will determining means 102 for determining the amount of the investment to the producing activity and selling activity of the work of the artist on the basis of the evaluation due to the work evaluating means 101. Besides, the system has a investment amount recording means 103 for recording the amount of the investment to the producing activity and selling activity of the work of the artist and a profit amount recording means 104 for recording a profit amount resulted corresponding to the producing activity and selling activity of the work of the artist. Further, the system is provided with a first dividend calculating means 105 for calculating a first dividend based on the investment amount recorded in the investment amount recording means 103 and the profit amount recorded in the profit amount recording means 104 and a first

**G06F 17/60**

(71) Applicant: **ORICON DIRECT DIGITAL:KK**

(72) Inventor: **KOIKE SATOYUKI**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-306008

(P2000-306008A)

(43) 公開日 平成12年11月2日 (2000.11.2)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/60

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

テーマコード(参考)

Q

Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 書面 公開請求 (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-43468 (P2000-43468)

(22) 出願日 平成12年1月17日 (2000.1.17)

(71) 出願人 599139648

株式会社おりこん・ダイレクトデジタル  
東京都港区六本木7丁目15番14号

(72) 発明者 小池 聡行

東京都港区六本木7丁目17番16号 株式会  
社オリコン内

(74) 代理人 100110652

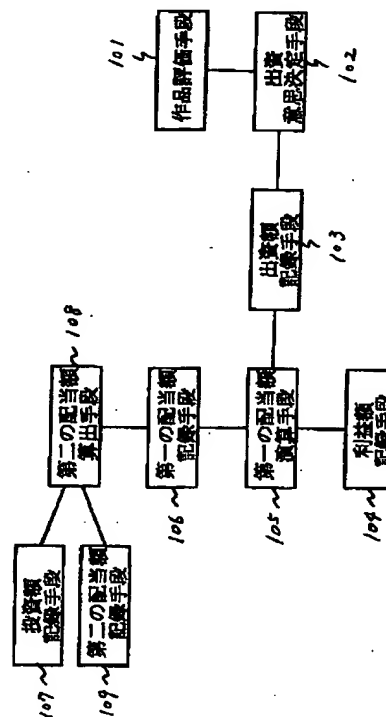
弁理士 塩野谷 英城

(54) 【発明の名称】 アーティスト・ファンド方法及びシステム

(57) 【要約】

【課題】 アーティスト作品の経済的価値を客観的に測ることのできるシステムを用い、アーティスト作品の経済的価値に応じた出資を当該アーティスト作品の製作活動又は販売活動に対し行うことができるようにすること。

【解決手段】 アーティストの作品価値を評価する作品評価手段101と、作品評価手段101による評価に基づいてアーティストの作品の製作活動及び販売活動への出資額を決定する出資意思決定手段102とを備えている。また、アーティストの作品の製作活動及び販売活動への出資額を記録する出資額記録手段103と、アーティストの作品の製作活動及び販売活動に応じて生じた利益額を記録する利益額記録手段104とを有する。更に、出資額記録手段103に記録された出資額と利益額記録手段104に記録された利益額とに基づいて第一の配当額を算出する第一の配当額算出手段105と、第一の配当額を記録する第一の配当額記録手段106とを備えている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 アーティストの作品価値を評価すること、  
 作品評価に基づいて前記アーティストの作品の製作活動又は／及び販売活動への出資額を決定すること、  
 前記アーティストの作品の製作活動又は／及び販売活動への出資額を出資額記録手段に記録すること、  
 前記アーティストの作品の製作活動及び販売活動に応じて生じた利益額を利益額記録手段に記録すること、  
 前記出資額記録手段に記録された出資額と前記利益額記録手段に記録された利益額とに基づいて第一の配当額を算出すること、  
 前記第一の配当額を第一の配当額記録手段に記録すること、  
 を備え、  
 前記出資額記録手段に記録した出資額の情報と前記第一の配当額記録手段に記録した第一の配当額の情報とを金銭取引に利用可能としたアーティスト・ファンド方法。  
 【請求項 2】 投資元からの投資額を投資額記録手段に記録すること、  
 この投資額記録手段に記録された投資額と前記第一の配当額記録手段に記録された第一の配当額とに基づいて前記投資元への第二の配当額を算出すること、  
 第二の配当額を第二の配当額記録手段に記録すること、  
 を備え、  
 前記投資額記録手段に記録した投資額の情報と前記第二の配当額記録手段に記録した第二の配当額の情報とを金銭取引に利用可能とした請求項 1 記載のアーティスト・ファンド方法。  
 【請求項 3】 アーティストの作品価値を評価する作品評価手段、  
 作品評価手段による評価に基づいて前記アーティストの作品の製作活動又は／及び販売活動への出資額を決定する出資意思決定手段、  
 前記アーティストの作品の製作活動又は／及び販売活動への出資額を記録する出資額記録手段、  
 前記アーティストの作品の製作活動及び販売活動に応じて生じた利益額を記録する利益額記録手段、  
 前記出資額記録手段に記録された出資額と前記利益額記録手段に記録された利益額とに基づいて第一の配当額を算出する第一の配当額算出手段、  
 前記第一の配当額を記録する第一の配当額記録手段、  
 を備え、  
 前記出資額記録手段に記録した出資額の情報と前記第一の配当額記録手段に記録した第一の配当額の情報とを金銭取引に利用可能としたアーティスト・ファンドシステム。  
 【請求項 4】 投資元からの投資額を記録する投資額記録手段、  
 この投資額記録手段に記録された投資額と前記第一の配

当額記録手段に記録された第一の配当額とに基づいて前記投資元への第二の配当額を算出する第二の配当額算出手段、  
 前記第二の配当額を記録する第二の配当額記録手段、  
 を備え、  
 前記投資額記録手段に記録した投資額の情報と前記第二の配当額記録手段に記録した第二の配当額の情報とを金銭取引に利用可能とした請求項 3 記載のアーティスト・ファンドシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、アーティスト・ファンド方法及びシステムに係り、特に、アーティストの作品を評価し、当該評価に応じてアーティストの活動に出資し、アーティストの作品の成果に応じた配当を受け取るアーティスト・ファンド方法及びシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】アーティスト作品の経済的価値を客観的に予測し評価するシステムは実現されていない。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、アーティスト作品の経済的価値を客観的に測ることが出来れば、各音楽作品の経済的価値に応じた融資を当該音楽作品のアーティスト又はプロジェクトに対し行うことができ、音楽アーティストや音楽プロジェクトへの融資活動が促進され、彼等の創造的活動を支援することができ、より優れた音楽を世に生み出すことに貢献できる。

【0004】ここで、音楽作品の経済的価値は、その音楽作品を記録した媒体の売上げや、音楽データ配信の売上げに反映される。

## 【0005】

【発明の目的】本発明は、アーティスト作品の経済的価値を客観的に測ることのできるシステムを用い、アーティスト作品の経済的価値に応じた出資を当該アーティスト作品の製作活動又は販売活動に対し行うことができるようにすることを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、アーティストの作品価値を評価すること、作品評価に基づいて前記アーティストの作品の製作活動又は／及び販売活動への出資額を決定すること、前記アーティストの作品の製作活動又は／及び販売活動への出資額を出資額記録手段に記録すること、前記アーティストの作品の製作活動及び販売活動に応じて生じた利益額を利益額記録手段に記録すること、前記出資額記録手段に記録された出資額と前記利益額記録手段に記録された利益額とに基づいて第一の配当額を算出すること、前記第一の配当額を第一の配当額記録手段に記録すること、を備え、前記出資額記録手段に記録した出資額の情報と前記第一の配当額記録手段

10

20

30

40

50

に記録した第一の配当額の情報とを金銭取引に利用可能とした。

【0007】また、本発明は、投資元からの投資額を投資額記録手段に記録すること、この投資額記録手段に記録された投資額と前記第一の配当額記録手段に記録された第一の配当額とに基づいて前記投資元への第二の配当額を算出すること、第二の配当額を第二の配当額記録手段に記録すること、を備え、前記投資額記録手段に記録した投資額の情報と前記第二の配当額記録手段に記録した第二の配当額の情報とを金銭取引に利用可能とした。

#### 【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態を図1乃至図3に基づいて説明する。図1は、本実施形態にかかるアーティスト・ファンドシステムの構成図である。本システムは、コンピュータ処理により実現される。

【0009】図1に示すアーティスト・ファンドシステムは、アーティストの作品価値を評価する作品評価手段101と、作品評価手段101による評価に基づいてアーティストの作品の製作活動及び販売活動への出資額を決定する出資意思決定手段102とを備えている。また、アーティストの作品の製作活動及び販売活動への出資額を記録する出資額記録手段103と、アーティストの作品の製作活動及び販売活動に応じて生じた利益額を記録する利益額記録手段104とを有する。更に、出資額記録手段103に記録された出資額と利益額記録手段104に記録された利益額とに基づいて第一の配当額を算出する第一の配当額算出手段105と、第一の配当額を記録する第一の配当額記録手段106とを備えている。そして、出資額記録手段103に記録した出資額の情報と第一の配当額記録手段106に記録した第一の配当額の情報とを金銭取引に利用可能としたものである。

【0010】また、図1のアーティスト・ファンドシステムは、投資元からの投資額を記録する投資額記録手段107と、この投資額記録手段107に記録された投資額と第一の配当額記録手段106に記録された第一の配当額とに基づいて投資元への第二の配当額を算出する第二の配当額算出手段108と、第二の配当額を記録する第二の配当額記録手段109とを備えている。そして、投資額記録手段107に記録した投資額の情報と第二の配当額記録手段109に記録した第二の配当額の情報とを金銭取引に利用可能としたものである。

【0011】このうち、各記憶手段103、104、106、107、109は、RAM、HDD（ハードディスクドライブ）、磁気テープ等のデータを記録可能なものである。また、各算出手段105、108及び出資意思決定手段102は、CPUを備えプログラム処理により演算を実行する。

【0012】次に、図2及び図3に基づいて作品評価手段101の構成を説明する。図2は、本実施形態にかか

る作品評価手段101の全体構成図である。

【0013】作品評価手段101は、CPU等を含む制御手段1に、コンピュータディスプレイ等の表示手段2と、RAM、ROM、HDD（ハードディスクドライブ）等の記憶手段3とを接続して構成されている。

【0014】記憶手段3は、次の要素を記憶領域として備えている。

1) アーティストの前作の初動得点を格納した初動得点記憶手段31。初動得点は全国の販売店から集計した値が格納されている。

2) アーティストの前作のセル・レンタル比率を格納したセル・レンタル比率記憶手段32。セル・レンタル比率は、全国の販売店及びレンタルショップから集計した値に基づいて算出され格納されている。

3) アーティストの今作の予約状況、購入意向又はレンタル意向等のユーザによる作品評価を格納した作品評価記憶手段33。作品評価として、多数人のユーザ調査（アンケート）に基づいて得られた集計結果が格納されている。評価回答の選択肢は、例えば、「予約している」、「買うつもりだ」、「聴いてよければ買う」、「レンタルするつもりだ」、「聴いてよければレンタルする」、「買ってもレンタルもしない」である。前者から後者に進むにつれて作品評価は低くなる。

4) アーティストが上昇期にあるか下降期にあるか等のユーザによるアーティスト評価を格納したアーティスト評価記憶手段34。アーティスト評価として、多数人のユーザ調査（アンケート）に基づいて得られた集計結果が格納されている。評価回答の選択肢は、例えば、「上昇期」、「安定期」、「下降期」である。前者から後者に進むにつれてアーティスト評価は低くなる。

5) アーティストの今作のタイアップ状況を格納したタイアップ状況記憶手段35。例えば、CMソングとしてのタイアップであれば、タイアップ先企業名、CM商品名、CMへの本人（アーティスト）の出演の有無等がタイアップ状況として格納されている。

6) アーティストの今作のプロモーション状況を格納したプロモーション状況記憶手段36。例えば、テレビ出演／雑誌露出／コンサート等のプロモーションの種別、プロモーションの日付、プロモーション先の情報（テレビ局・番組名、雑誌社・雑誌名、コンサート会場等）がプロモーション状況として格納される。

7) アーティストの前作の曲調と今作の曲調とを格納した曲調記憶手段37及び前作の売上を格納した前作売上格納手段38。例えば、16ビート、バラード等の種別が曲調として格納されている。前作の売上げは、全国の販売店から集計した結果が格納されている。

8) アーティストのユーザによる認知度を格納した認知度記憶手段39。認知度として、多数人のユーザ調査（アンケート）に基づいて得られた集計結果が格納されている。

10

20

30

40

50

9) 指数テーブル40。指数テーブル40には、上述した初動得点、セル・レンタル比率、作品評価、アーティスト評価、タイアップ状況、プロモーション状況、曲調の差、のそれぞれの格納値に対応する売上影響指数が予め過去の経験に基づいて設定されている。本実施形態において、売上影響指数は、音楽作品の売上本数の変動分を指数として設定したものである。これにより、タイアップ状況などを売上に影響する本数に換算できるようになっている。売上影響指数は、累計得点予測（今作のアルバム又はシングルの売上げの累計の予測値）を算出する

ためのものと、初動得点予測（今作のアルバム又はシングルの売上げの初動得点の予測値）を算出するためのものとが、別々に準備されている。

【0015】一方、制御手段1は、アーティストの今作の売上を予測する予測手段11と、この予測手段11によって見積もられた今作の売上予測を外部に出力する出力手段12とを備えている。予測手段11及び出力手段12は、制御手段1が音楽売上予測プログラムを実行することにより実現される。

【0016】本実施形態において、予測手段11は、次の処理を実行する。

1) 初動得点記憶手段31に格納された初動得点が高いほど当該アーティストの今作の売上を大きい値に見積もる。具体的には、指数テーブル40に、初動得点が高いほど大きい売上影響指数が設定されており、予測手段11は、この売上影響指数を指数テーブル40から読み出して予め設定された基本指数（例えば前作の初動得点や累計得点）に加算する。前作の初動得点が高いものはそれだけファン層の支持が厚いと経験的に言える。

2) セル・レンタル比率記憶手段32に格納されたセル・レンタル比率に基づくセル実績の割合が大きいほど当該アーティストの今作の売上を大きい値に見積もる。具体的には、指数テーブル40に、セル実績の割合が大きいほど大きい売上影響指数が設定されており、予測手段11は、この売上影響指数を指数テーブル40から読み出して予め設定された基本指数に加算する。レンタル比率が高い場合、買うまでいかないという層が多く、セールス的には期待できないと経験的に言える。

3) 作品評価記憶手段33に格納された作品評価が高いほど当該アーティストの今作の売上を大きい値に見積もる。具体的には、指数テーブル40に、作品評価が高いほど大きい売上影響指数が設定されており、予測手段11は、この売上影響指数を指数テーブル40から読み出して予め設定された基本指数に加算する。レンタル意向が強ければ、セールス的には伸びないと経験的に言える。

4) アーティスト評価記憶手段34に格納されたアーティスト評価が高いほど当該アーティストの今作の売上を大きい値に見積もる。具体的には、指数テーブル40に、アーティスト評価が高いほど大きい売上影響指数が

設定されており、予測手段11は、この売上影響指数を指数テーブル40から読み出して予め設定された基本指数に加算する。アーティストが上昇期ならばセールス的には前作以上の伸びが期待できると経験的に言える。

5) タイアップ状況記憶手段35に格納されたタイアップ状況が高いほど当該アーティストの今作の売上を大きい値に見積もる。具体的には、指数テーブル40に、タイアップ状況が高いほど大きい売上影響指数が設定されており、予測手段11は、この売上影響指数を指数テーブル40から読み出して予め設定された基本指数に加算する。

6) プロモーション状況記憶手段36に格納されたプロモーション状況が高いほど当該アーティストの今作の売上を大きい値に見積もる。具体的には、指数テーブル40に、プロモーション状況が高いほど大きい売上影響指数が設定されており、予測手段11は、この売上影響指数を指数テーブル40から読み出して予め設定された基本指数に加算する。

7) 曲調記憶手段37に格納された前作の曲調と今作の曲調との差に応じて今作の売上を見積もる。具体的には、指数テーブル40に、前作と今作の曲調の差に応じた売上影響指数が設定されており、予測手段11は、この売上影響指数を指数テーブル40から読み出して予め設定された基本指数に加算又は減算する。

8) 認知度記憶手段39に格納されたアーティストの認知度が高いほど当該アーティストの今作の売上を大きい値に見積もる。具体的には、指数テーブル40に、アーティストの認知度が高いほど大きい売上影響指数が設定されており、予測手段11は、この売上影響指数を指数テーブル40から読み出して予め設定された基本指数に加算する。

【0017】以上の1から7の演算により初動得点予測値と累積得点予測値との双方を算出する。初動得点予測値の演算を行う場合は、初動得点予測用の売上影響指数を指数テーブル40から読み出して演算を行う。累計得点予測値の演算を行う場合は、累計得点予測用の売上影響指数を指数テーブル40から読み出して演算を行う。出力手段12は、予測手段11によって見積もられた今作の売上予測（初動得点予測値、累計得点予測値）を表示手段2により外部に出力する。

【0018】また、出力手段12は、売上予測を出資意思決定手段102に入力する。出資意思決定手段102は、作品評価手段101から受け付けたアーティスト作品の売上予測に基づいて当該アーティスト作品の製作活動及び販売活動に対する出資額を演算により決定し、出資額記録手段103に記録する。

【0019】第一の配当額算出手段105は、出資額記録手段103に記録された出資額と利益額記録手段104に記録された利益額とに基づいて第一の配当額を算出し、第一の配当額を第一の配当額記録手段106に記録

する。また、第二の配当額算出手段 108 は、投資額記録手段 107 に記録された投資額と第一の配当額記録手段 106 に記録された第一の配当額とに基づいて投資元への第二の配当額を算出し、第二の配当額を第二の配当額記録手段 109 に記録する。

【0020】これによると、アーティスト作品の経済的価値を客観的に測ることによって、各アーティスト作品の経済的価値に応じた融資を当該アーティスト作品の製作活動又は販売活動に対し行うことができ、音楽アーティストや音楽プロジェクトへの融資活動が促進され、彼等の創造的活動を支援することができ、より優れた音楽を世に生み出すことに貢献できる。

【0021】ここで、図 1 のアーティスト・ファンドシステムを構成する各要素間の接続は、ローカル接続でもよいし、ネットワークを介して相互に接続されていても構わない。

#### 【0022】

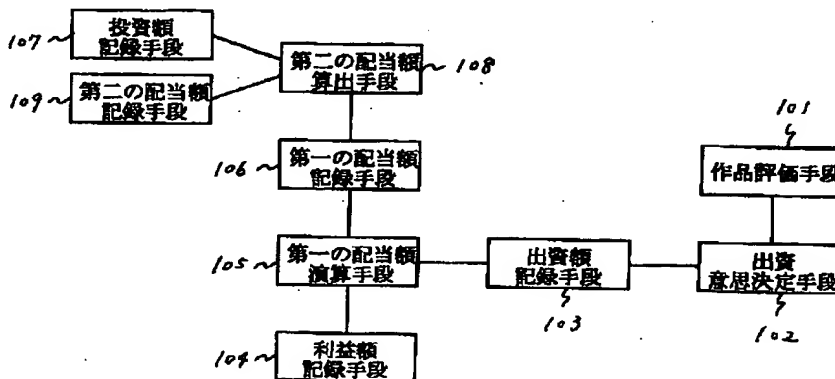
【発明の効果】本発明は、以上のように構成され機能するので、これによると、アーティスト作品の経済的価値を客観的に測ることによって、各アーティスト作品の経済的価値に応じた融資を当該アーティスト作品の製作活動又は販売活動に対し行うことができ、音楽アーティストや音楽プロジェクトへの融資活動が促進され、彼等の創造的活動を支援することができ、より優れた音楽を世に生み出すことに貢献できるという、従来にない優れたアーティスト・ファンド方法及びシステムを提供することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施形態に係るアーティスト・ファンドシステムの全体構成図。

\* 30

【図 1】



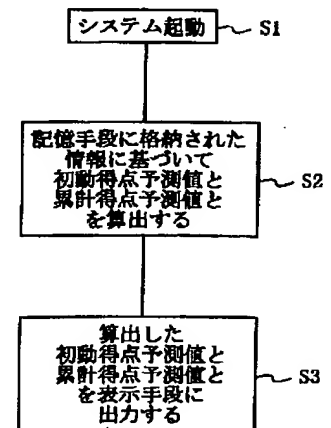
\* 【図 2】図 1 に示す作品評価手段の構成を示すブロック図。

【図 3】図 2 に示す制御手段が実行するフローチャート。

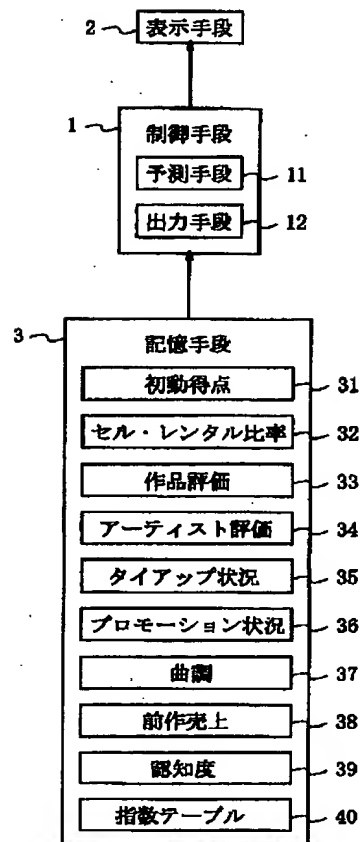
#### 【符号の説明】

- 1 制御手段
- 2 表示手段
- 3 記憶手段
- 11 予測手段
- 12 出力手段
- 31 初動得点記憶手段
- 32 セル・レンタル比率記憶手段
- 33 作品評価記憶手段
- 34 アーティスト評価記憶手段
- 35 タイアップ状況記憶手段
- 36 プロモーション状況記憶手段
- 37 曲調記憶手段
- 38 前作売上記憶手段
- 39 認知度記憶手段
- 40 指数テーブル
- 101 作品評価手段
- 102 出資意思決定手段
- 103 出資額記録手段
- 104 利益額記録手段
- 105 第一の配当額算出手段
- 106 第一の配当額記録手段
- 107 投資額記録手段
- 108 第二の配当額演算手段
- 109 第二の配当額記録手段

【図 3】



【図2】



フロントページの続き

(51)Int. Cl. 7

識別記号

F I

テーマコード (参考)